

■部会便り

技術部会 系統連系WGの活動紹介



日本風力発電協会 理事 系統連系WGグループリーダー **鈴木 和夫**
株式会社 日立エンジニアリング・アンド・サービス

系統連系ワーキンググループは、技術部会の第二ワーキンググループですが、約20名の委員により月一回の定例会を中心に活動しています。

昨年度前半は、発電事業者懇話会と合同勉強会を中心に実施し、後半は、この勉強会を整理しながら、今後再開される予定の経済産業省資源エネルギー庁 系統連系対策小委員会関連の系統連系問題に関する対応方針について議論を進めてきました。

1. 2006年度の活動内容

(1) 発電事業者懇話会との合同勉強会

月/日	主な活動内容
3/21	電機学会技術報告第869号を基準に外部講師による系統連系講習会
6/2	H17年度エネ庁系統小委主要点解説
6/27	電力系統利用協議会ルール講習会
7/13	風力連系問題講習会(学識者)
8/29	会社間連系線問題の復習整理
9/28	系統連系課題講習会(学識者)
11/6	EWEA 風力連系会議出席報告会
4/10	エネ庁殿との連系問題打合せ
4/17	

(2) 系統WG活動

月/日	主な活動内容
10/17	会社間連系線活用勉強会整理WG活動方針打合せ
11/14	風力発電導入枠の考え方整理 欧州系統連系資料の勉強会
12/19	既設主要発電所出力データ解析検討 合同勉強会アンケート案検討
1/23	既設主要発電所出力データ提供依頼書
2/20	連系量増大策検討、風況予測システム検討、合同勉強会アンケート依頼
3/20	欧州系統連系問題、停電問題勉強会
4/17	連系量増大策に関する報告 導入促進アンケート内容検討

2. 2007年の活動方針

(1) 系統WG活動方針

No	検討項目	概況
1	定例会	1回/月
2	実施体制	昨年度体制継続
3	基本方針	・合同勉強会継続 ・既設発電所データ解析 ・連系量増大策検討
4	JWPA 会員への御願い	既設発電所データ解析結果小冊子の購入依頼
5	見学会	ハイブリッドシステム見学会計画

(2) 現状の連系量の状況

2006年度末の国内導入量は、1,490MWと公表されているが、エネ庁が目標とする2010年の3,000MWを実現するには、400MW/年のペースで今後4年間の導入を実現しなければならない。

しかし、実際の契約見通しからは、かなり厳しい状況にあるとの情報もあり、且つ、今年見直しがされた2014年のRPS目標値に伴う約4,500MWの導入目標を実現し、2020年のさらなる目標設定を可能にするためには、連系制約条件の技術的解決が重要な課題である。

また、6月13日には、九州電力管内の約150MWの連系抽選会が実施され、約10倍近い応募容量があり、予想を上回る量が計画されているものの、電力各社の調整力不足を主因とする連系制約条件の課題が鮮明になってきています。

3. その他

技術部会系統連系WG、Grからの御願いとして、電力会社管内既設風力発電設備の全出力変動量の解析を進めておりますが、その費用代行として解析結果小冊子(50,000円/冊)購入のご検討を御願い申し上げます。

毎月の定例活動は、益々重要な局面を迎えつつあり、委員の皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。